



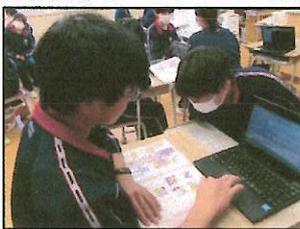
命を考える授業が増える時期。一週間後は3.11。



授業参観・PTA懇談会 ありがとうございました！



2月20日(金)、本年度最後となる授業参観とPTA懇談会がありました。お忙しいところ、たくさんの保護者の皆様にお越しいただき、心より感謝申し上げます。お子さんの様子、生徒達の表情、学校の雰囲気はいかがでしたでしょうか？

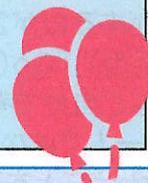


人間は集団の中で自他を知り、支え、支えられることを覚えます。思春期は難しい時期でもありますが、様々な場面、様々な角度からの学びを通して心が大きく育つ劇的な成長を見せる時期でもあります。生徒が家で見せる顔と学校で見せる顔は同じだとは限りませんから、家庭と学校とで情報共有しながら成長を支えるPTA活動には大きな意義があると考えます。



3年教室では、懇談会に先立ってPTA活動への貢献に対し感謝状の贈呈が行われました。これまでのご尽力に、心からの敬意と感謝を申し上げます。

令和7年度一関東中学校PTA表彰
令和7年度PTA会長 佐藤 和枝様
令和7年度PTA監事 千葉 祐太様



☆第50回「ごはん・お米とわたし」千葉心遥(3A)
〈図画部門〉全国農業協同組合中央会 図画三部優秀賞
〈図画部門・作文部門〉岩手県教育委員会教育長賞 W受賞

☆第54回県下書写書道作品コンクール
〈毛筆の部〉推薦 千葉心遥(3A)
準特選 橋本さくら(3A)、小山昂(2A)、阿部輝大(2A)、佐藤紅杏(1A)、千葉優心(1A)
〈硬筆の部〉特選 阿部輝大(2A)

☆文集「いわいの子」作品掲載 山崎いちか(2A) 千葉詩季(1A)

☆一関市立一関東中学校・第50回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 学校奨励賞
・全国中学生人権作文コンテスト 人権意識高揚の取組への感謝状

東中生の輝き

春に向けて...

〈1,2年生〉東中文化を楽しく知ってもらおうと、合唱や応援練習、クイズなど工夫をこらした入学説明会。

新しくできる後輩への思いを胸に練習に取り組む姿に先輩としての頼もしさを感じました。〈3年生〉公立高校入試を明日から控え、今日はどこか緊張した面持ち...

「頑張った人は、頑張った分だけいい思いをする」希望進路達成を目指し、頑張れ3年生！



「自由」になるには 中学生の発達～生徒の作文から考える～

薬物乱用防止講座(2年)



☆本校学校薬剤師 中野輝美先生(れもん薬局)

薬物乱用という言葉は遠く自分とは無関係なものだと思っていました。しかし実際にはあまり遠くなく、誰でも関わる可能性がある恐いものだと知りました。自分は、酒とたばこは絶対にしないと心に決めているのですが、貫き通せるか不安になりました。周りの環境によっては誘惑が増えるかもしれないので、普段から断る勇気をしっかり持つておきたいです。

思春期講演会(3年)



市販薬のオーバードーズという言葉は以前小説で目にして調べたことがありましたが、その意味と危険性を正しく知ることができました。加熱式タバコにも害があることも知れました。酒が危ないということは授業で習いましたが、はっきり毒物と言われたのは新たな気づきになりました。

今まで積極的に性関連の話を聞いたことがなかったんですが、今日の講演で自分の考えがガラッと変わった気がします。…思春期には大脳辺縁が発達してメタ認知能力や自分を客観的にみる能力が身に付くことがわかりました。思春期は、いつかは終わるとあまり気にはしていなかったし気にも留めていませんでしたが、この時期も楽しんでこそその人生と、自分の考えに変化をもたらしてくれました。

☆加藤 瞳先生(産前産後ケア訪問型ひとみ助産院)



女子は男子より思春期が来るのが2年ほど早いことを知った。「No(はっきりと拒否)」「Go(逃げる)」「Tell(信頼できる人に相談する)」など自分で考えて行動することが大切だと思った。…自分一人ではなく、友達や家族に支えられながら生きているということを改めて感じた。出産は命に関わることで当たり前なことではないので、自分の命も周りの人の命も大切に生きていきたいし、自分でしっかり判断したい。

赤ちゃんの体重は3kg位と聞いて「軽いな」と思っていたが、実際に赤ちゃんの人形を抱いたら意外に重くてびっくりした。

今自分が生きているこの時期は思春期であり、他者と自分を比べて劣等感や優越感を感じ、たくさんの感情が生まれる時期だということがわかった。不安を感じたら「完璧じゃなくていい」と心の奥に思い生きていきたい。また、性に関しては、好きな人への愛情表現を間違えず、相手の意志を尊重し、互いの気持ちや体について理解し、大切にしていきたいと思う。

思春期は脳の発達によって行動が変わり、様々な感情が生まれ、大人になっていく準備期間であることがよく分かった。また、助産師さんから直接赤ちゃんを育てる大変さや生命が誕生するまでの道のりを教えていただいたことで、自分がどれだけの苦勞によって生まれてきたこと、5千億分の1という気が遠くなるくらい尊い確率で自分が生まれてきたことがすごく分かった。これから大人になっていく上で、自らを守るためにも「自己決定」をすることで自分を見つめ、自分の良さを大切に生きていきたいし、たくさんの奇跡の上に生きていることを知ったので、自分を自分で守れる人間になりたいと思った。

将来的にパートナーができたときにも、お互いに同意を得ることやデートDVをしないことなど、自分が果たさなければならない責任があること、また多様な性の考え方があっていいとわかりました。

(前号の続き)上記は全て本校生徒の授業の感想です。新たな気づきを自分の言葉で表現していることがわかります。思春期の「囚われ」から「自由になる」ためには、「世界(視野)を広げる」こと、「自分なりに価値観を再構築する(言葉を持つ)」こと…つまり「生徒自身が当事者となる機会」「生徒の自己決定」を我々大人が意識して尊重することが大切のように思います